

家畜改良センター技術マニュアル 14

国産鶏種「はりま」飼養管理マニュアル

独立行政法人 家畜改良センター

はじめに

(独)家畜改良センター兵庫牧場では、平成13年度から、生活クラブ生協向け「はりま」原種鶏の供給を開始しました。

「はりま」は、国の肉用鶏作出事業において、兵庫牧場で長年育種改良したホワイトコーニッシュ種とホワイトロック種の系統を利用し、都道府県の種鶏性能調査や組み合わせ検定を経て候補組み合わせを選定し、さらに、農家の協力を得てフィールド飼養特性調査を実施し、その結果、作出された銘柄鶏です。その「はりま」が「種から国産」を望む生活クラブ生協の目にとまり、現在、首都圏を中心に80万羽が消費されており、さらに平成17年度からは、首都圏で40万羽、近畿圏で15万羽の消費増加が確実となっています。

こうしたことから、国は「はりま」を生産する農家への飼養管理マニュアル整備の重要性を認識し、財団法人全国競馬・畜産振興会助成により社団法人畜産技術協会が「特用家畜等生産利用技術確立調査研究事業」を実施することとなり、さらに、このうち「高品質鶏増殖普及体制確立委託事業」が社団法人日本種鶏孵卵協会へ委託されることとなりました。マニュアルは、消費者、生産者、加工業者、種鶏業者、大学、兵庫牧場などからの専門家により、平成14年度から3カ年間をかけて、体重、飼料要求率といった一般的な経済形質から消費者アンケートまで多彩な調査を行うことにより、平成16年度末に完成する運びとなりました。

しかしながら、本事業では、マニュアル作成とともに、事業が終了することから、今後のマニュアル更新も含めて、家畜改良センターの独自マニュアルとしての発行も併せ行うこととした。

今後、一層の「はりま」消費拡大のため、本マニュアルを利用することにより、より多くの生産者の方に「はりま」生産のコンセプトをご理解頂き、活用頂けることを願っています。

平成17年3月

独立行政法人 家畜改良センター 兵庫牧場
場長 大島照明

目次

	ページ
I 「はりま」生産に当たって	1
II 防疫対策	2
III 雛受入前準備	4
IV 雛受入れ	8
V 育成期間	10
VI その他	11